

教科目標

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

1学期 主な学習内容（46時間）	2学期 主な学習内容（56時間）	3学期 主な学習内容（38時間）
【物質】 化学変化と原子・分子 ①物質の成り立ち（10時間） ②物質の表し方（6時間） ③様々な化学変化（10時間） ④化学変化と物質の質量（8時間） 【生命】 生物の体のつくりとはたらき ①生物の体をつくるもの（6時間） ②植物の体のつくりとはたらき（6時間）	【地球】 地球の大気と天気の変化 ①地球を取り巻く大気のような（5時間） ②大気中の水の変化（8時間） ③天気の変化と大気の動き（7時間） ④大気の動きと日本の四季（10時間） 【エネルギー】 電流とその利用 ①電流の性質（10時間） 【生命】 生物の体のつくりとはたらき ②植物の体のつくりとはたらき（4時間） ③動物の体のつくりとはたらき（12時間）	【エネルギー】 電流とその利用 ①電流の性質（8時間） ②電流の正体（7時間） ③電流と磁界（12時間） 【生命】 生物の体のつくりとはたらき ④動物の行動のしくみ（7時間） 1, 2年の復習（4時間）

評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。）

	評価の観点（1学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	最適な細胞像を顕微鏡の視野に出し、植物と動物の細胞のつくりを顕微鏡で観察し、それぞれの特徴を見出すことができる。	[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・ワークシート ・実験観察レポート ・小テスト ・単元テスト ・実技テスト	実験観察レポートは、原則として、A、B、Cで評価する。 A 細胞の特徴をスケッチの正しい方法を用いて描き、かつ、その相違点や共通点を記述している B スケッチの正しい方法を用いて、細胞の形をほぼ正確に描き、特徴を記述している C スケッチが正しい方法で描けていない、またはそれぞれの細胞の特徴を捉えられていない
II 思考・判断・表現	炭酸水素ナトリウムを加熱した時に、どのような物質が出来たか、論理的に説明することができる。	[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・ワークシート ・実験観察レポート ・小テスト ・単元テスト	実験観察レポートは、原則として、A、B、Cで評価する。 A 実験結果から、理由を明確にしながらか物質の正しく判別し、元の物質と比較や検討を書き表している B 実験結果から、理由を明確にしながらか物質を正しく判別することができる C 物質の種類を判別できていない、または不十分である
III 主体的に学習に取り組む態度	酸化銅を活性炭とともに加熱した時に、物質に起きた化学変化について、他者と対話しながら、実験レポートをつくることことができる。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 【各教科の方法・資料】 ・ワークシート ・実験観察レポート ・小テスト ・単元テスト ・定期テスト	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 【各教科 独自の方法】 実験観察レポートは、原則として、A、B、Cで評価する。 A 結果や既存の知識を用いたり、他者の考えを取り入れたりしながら科学的に探究しようとしている内容 B 結果を用いて科学的に探究しようとしている内容 C 結果を用いて科学的に探究しようとする内容が不足している